

当院では、下記の臨床研究を実施しています。研究概要は以下のとおりです。

【研究課題名】

妊婦健診として行われる子宮頸がん検診の有用性と適正実施方法に関する研究

【目的】

妊娠中の子宮頸がん検診で、使用する採取器具（綿棒とそれ以外のヘラやブラシなど）により高度前がん病変または子宮頸がん疑いの検出率・精密検査結果・流産率・検査後出血による予約外受診頻度に差を認めるかを比較し、妊婦中における子宮頸がん検診の適正な実施方法とその意義を明らかにすることを目的としています。

【対象】

2019年4月～2020年3月までに妊婦健診として子宮頸部細胞診を受けた方

【方法】

診療記録より当院研究担当医師が情報を収集し、研究用に作成された Web 上の調査票へ入力し提出、または調査票へ入力して研究用のクラウドサーバーを利用して提出します。入力したデータはデータセンター（横浜市立大学附属病院 産婦人科）で保管し、解析されます。この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがあります。

【個人情報の取り扱い】

収集した情報は匿名化するため、氏名などの特定の個人を識別できるような情報が外部に漏れることはありません。

【利用する試料・情報】

診療記録（年齢、妊娠回数、出産回数、子宮頸部病変の既往、今回の出産の転記、細胞採取器具、細胞診方法、細胞診実施時の妊娠週数、細胞診の結果
[妊娠初期の子宮頸部細胞診結果が要精密検査（ASC-US 以上）の場合は以下も収集]
HPV 検査結果、子宮頸がん精密検査結果、子宮頸部病変の治療内容、臨床病期、転帰）

【研究期間】

倫理委員会の承認が得られてから 2022 年 3 月 31 日まで

【研究代表者】

横浜市立大学附属病院 産婦人科 宮城 悦子
東京女子医科大学病院 産婦人科 田畑 務

【共同研究機関】

新百合ヶ丘総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、札幌医科大学附属病院、東邦大学医療センター大森病院
葛飾赤十字産院、横浜市立大学附属市民総合医療センター、大阪大学医学部附属病院、新潟大学
越谷市立病院、横浜労災病院、大和市立病院、小田原市立病院、済生会横浜市南部病院、横浜市立市民病院
横須賀共済病院、藤沢市民病院 他

【当院の研究責任者】

産婦人科 浅野 涼子

【連絡先】

横浜市立市民病院 〒221-0855 横浜市神奈川区三ツ沢西町 1-1
電話 045-316-4580（病院代表） 産婦人科 浅野 涼子

この研究の対象となる方またはその代理の方で本研究への参加を希望されない方は、上記の連絡先へお申し出ください。その場合でも、対象となる方に不利益が生じることはありません。また、この研究の対象となる方またはその代理の方は、本研究の詳細（研究計画書及び研究方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手・閲覧することができますので、ご希望の方はお申し出ください。